

【2020 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英語 会話			選択必修	1	1.2	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
ジェイソン・ティーン・スタージョン		C309	jsturjeon		水曜日 10:00~17:40	
授業の目的・概要		<p>目的：会話を成立させるための基礎文法を理解する。日常会話に必要な語彙やさまざまな英語表現を習得する。場面や目的に応じてコミュニケーションを積極的に図る態度を身につける。グローバル社会に対応できる視野や考えをもつことを目的とする。</p> <p>概要：課題学習、同時双方向型授業を通し日常生活の身近な話題についての情報や考えを英語で理解・伝達する基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図る練習を行う。イギリス、アメリカ、等英語圏の国々の文化についても理解を深め、トラベル会話に役立つ実践的なコミュニケーション技法を習得する。</p>				
学習上の助言		英語を話す方法を学ぶことは、自習よりもリアルタイムの練習が必要である。そのため、クラス内外のさまざまな状況で英語を使うことが重要である。				
教科書		必要に応じ教材を Teams やメールで配布する。				
参考書		英和辞典 (授業に必ず持参すること)				
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	簡単な英会話に積極的に参加することができる。				HSU(2)	
②	簡単な質問、応答が英語でできる。				HSU(2)	
③	自分の家族や友達などについて英語で描写することができる。				HSU(2)	
④	レストランにおいて、よくある会話が英語でできる。				HSU(2)	
⑤	未来の予定を英語で話すことができる。				HSU(2)	
⑥	英語で道案内ができる。				HSU(2)	
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オンライン英語の自己紹介を練習する。授業の流れについて知る。	課題送付・提出・フィードバック	メールで配布したファイルを復習する・ビデオを見る	1		
2	自分の英語学習の経験を振り返り、どれだけ勉強したかと比較して、どれだけ話すことができるかを考える。Sid Efromovich のビデオを見て、彼のアドバイスをあなた自身の語学にどう活用できるか考え、レポートを作る (課題)。	課題送付・提出・フィードバック	メールで配布したファイルを復習する・ビデオを見る	1		
3	配布された資料を使い、Yes/No 疑問文を復習して、練習を通しその使えるスピードを増やしてみる。	課題送付・提出・フィードバック	メールで配布したファイルを復習する・ビデオを見る	1		
4	配布された資料を使い、WH 疑問文を復習し、それを使うときに発生する可能性が高い間違いを知る。練習を通しその使えるスピードを増やしてみる。	課題送付・提出・フィードバック	メールで配布したファイルを復習する・ビデオを見る	1		
5	英語で自由に話せる自分を録音し、事前に計画されたスピーチを記録する。2 つの録音間のスキルのギャップを考慮する。どのようにスピーキングを向上させることができるかについての先生からのフィードバックをもらう。(課題)	課題送付・提出・フィードバック	メールで配布したファイルを復習する・ビデオを見る	1		
6	配布された資料を使い、人や物を効果的に説明する方法を学びます。英語で物事をすばやく効果的に説明することを練習する。(課題)	課題送付・提出・フィードバック	メールで配布したファイルを復習する・ビデオを見る	1		
7	配布された資料を使い、言語的および非言語コミュニケーション戦略について学び、練習する。すばやく効果的に話す作業を続ける。	課題送付・提出・フィードバック	メールで配布したファイルを復習する・ビデオを見る	1		
8	Teams の作り方を練習しながら、短い間各クラスメートと英語で話す。試験の方法のオリエンテーション。	同時双方向型授業	メールで配布したファイルを復習する・クラスメートと練習する	1		
9	食事やレストランでよく使われる英語のフレーズや表現を学び、練習します。	同時双方向型授業	メールで配布したファイルを復習する・クラスメートと練習する	1		
10	3~5 人の学生のグループで短いレストランをテーマにしたスキットを作り、それをクラスのために実行します。	同時双方向型授業	メールで配布したファイルを復習する・クラスメートと練習する	1		
11	未来形を復習する。未来形を使って練習し、スピードを上げてみる。	同時双方向型授業	メールで配布したファイルを復習する・クラスメートと練習する	1		

【2020 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

12	友達と一緒に計画を立てたり、自分の将来の計画について話したりして、未来の時制をさらに練習する。	同時双方向型授業	メールで配布したファイルを復習する・クラスメートと練習する	1
13	道案内する方法を学んで、練習する。	同時双方向型授業	メールで配布したファイルを復習する・クラスメートと練習する	1
14	ゲームを通してさらに道案内を練習して、速度と精度を上げる。	同時双方向型授業	メールで配布したファイルを復習する・クラスメートと練習する	1
15	コミュニケーション能力についての個人的な強い点と弱い点を聞き、英語で数人の学生とフリートーキングする。期末試験のガイダンス	同時双方向型授業	英語スキルを上達させるためのアドバイスを個々の学生に行うので質問の準備をしておく。	1
試	3～4人グループで英語のみで話すことを通して問題を解く。			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	0	0	0	50	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	30	0	0	0	0	30
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	50	50
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	試験：グループタスクを完成させる。(グループメンバー一人一人にある情報が与えられ、その情報を英語、コミュニケーションのテクニックを使い、他のメンバーに伝達する。グループメンバーは互いに協力し、問題解決方法を探す) 評価：日本語を使わずに、正確に情報の伝達、解釈ができるかを評価する。(50点)	試験の評価、教員よりの個人的な助言・コーチング
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
レポート	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
成果発表	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
ポートフォリオ	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
その他	①	成績評価は主に、授業におけるスピーキングアクティビティへの積極的参加や、英語、コミュニケーションのテクニックを駆使する努力を評価する。 授業内でのアクティビティは日本語を使用しないこと。加点は、英語の正確さより、タスクの成功や失敗に重点を置く。(50点)	教員よりの個人的な助言・コーチング、スピードチェックの結果
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

【2020 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

備 考

担当教員：スタージョン・ジェイソン

**教員の実務経験：**英語教育の分野で 13 年の経験。

**実践的授業の内容：**日本では、中学校の初めから高校の卒業まで学生が英語をテキストで勉強するが、50%以上の学生が外国人と会話が出来ない。授業ではスピーキングを集中して行い、従来の勉強した英語を使用して流暢に会話できるよう改善する。英語を話すスキルは、旅行、顧客とのやり取り、そして一般的な人的コミュニケーションなど、多岐の分野で非常に役立つ。

参加・コミュニケーション力を評価するため、授業を欠席した日の評価は 0 点とする。

シラバスは将来変更される可能性があるので、注意すること。また、期末試験は学校で行われることがあるので、感染の拡大を防ぐために、自身のマスクが必要になる。マスクを持っていない学生は、試験室に入室不可。遠隔授業では Teams をつけた同時双方向型授業を行う。課題ダウンロードを行うので授業時は通信容量が無制限の WiFi 環境を奨励する。また様々な課題の提出期限は厳守すること。